

Departure で自己表現力を高める

編集部

教科書 *Departure* はさまざまなトピックについて、自分の言葉で論理立てて表現できるようにと工夫した構成になっています。本稿では *I*, *II* それぞれのライティング活動をご紹介します。

◆ *Departure I* で量を高める

Departure I では、50語から始まり、20のLessonを経て最終的には100語程度の英文が書けるようになるよう設計されています。学校生活や健康問題といった身近なところから、環境問題、工学技術、文化、スポーツなど、さまざまなトピックについて書く力を身に付けることができます。

1レッスン4ページの構成で、まず1・2ページ目でそのレッスンの学習ターゲットとなる文法項目の基本的な知識を学び、演習問題で定着を図ります。演習問題の文はレッスンのトピックに沿った内容になっているため、文法項目を定着させると同時に、トピックに関連した語彙・表現にふれることもできます。また、2ページ目の最後にはトピックについてペアトークする活動を設け、技能統合型の授業を可能にしています。

続く3・4ページ目では、トピックに関連したリスニング活動とリーディング活動で語彙・表現をさらに増やした後、まずは空所補充、続いてモデル文を参考にパラグラフを組み立てる作業をします。空所補充した文をモデル文に則したかたちで組み立てれば自然と論理的なパラグラフになるよう工夫されています。

◆ *Departure II* で質を高める

Departure II は大きく5つのパートに分かれており、ライティングはPart 1～3で扱っています。Part 1では文法学習と短文レベルの英作文、Part 2, 3でパラグラフライティングのトレーニングをします。“Ways to Express It”のコーナーでは、日本語をそのまま英語に訳すのではなく、自分の表現しやすいかたちに言い換えるヒントを提示しています。例えば、「幼なじみ」に該当する英単語がわからない場合、「子どもの頃からの友達」と言い換えて表現することができる、といった具合です。「どのように言い換えれば伝わるだろう」と考える習慣を身に付けることは、自分の言葉で表現する力を付けることにもつながるといえます。また、Part 2では日記や説明文、論述文など、さまざまなテキストタイプの構成を学び、Part 3では与えられた手順に従い、自分の意見を論理的にまとめる練習を行います。

◆ 副教材でもライティングをサポート

Departure II では副教材として、『ライティング・サポート・ノート』を用意しました。教科書の例文の復習問題や、トピックに関連した過去の大学入試問題を取り上げ、書く力の向上をさらにサポートします。英作文の解答例は複数提示し、解答する際のポイントをていねいに解説しているため、解説を読んでから書いたものを見直す練習をすれば、self-editする力を培うことができます。